

科 目 名	地域資源活用	単 位 数	2 単位	学科・学年	森林総合 科 2 年																																												
使用教科書	グリーンライフ(実教出版)			副教材等																																													
学 習 目 標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域資源の活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地域資源の活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 地域資源の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (2) 地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。																																																
学 習 評 価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり(定期考査までを学習のひとまとまり)ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。 <table border="1"> <tr> <td>①知識・技術</td><td colspan="5">地域資源の活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</td></tr> <tr> <td>②思考・判断・表現</td><td colspan="5">地域資源の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</td></tr> <tr> <td>③主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="5">地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</td></tr> <tr> <td rowspan="5">  </td><td>評価方法\観点</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td></td></tr> <tr> <td>学習状況観察</td><td>◎</td><td>—</td><td>◎</td><td></td></tr> <tr> <td>ノート・配付プリント</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr> <td>樹木標本</td><td>—</td><td>◎</td><td>◎</td><td></td></tr> <tr> <td>ペーパーテスト</td><td>—</td><td>○</td><td>○</td><td>確認テスト・定期考査</td></tr> </table> ※表中の◎は観点の中でより重視するところです。					①知識・技術	地域資源の活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。					②思考・判断・表現	地域資源の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。					③主体的に学習に取り組む態度	地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。						評価方法\観点	①	②	③		学習状況観察	◎	—	◎		ノート・配付プリント	○	○	○		樹木標本	—	◎	◎		ペーパーテスト	—	○	○	確認テスト・定期考査
①知識・技術	地域資源の活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。																																																
②思考・判断・表現	地域資源の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。																																																
③主体的に学習に取り組む態度	地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。																																																
	評価方法\観点	①	②	③																																													
	学習状況観察	◎	—	◎																																													
	ノート・配付プリント	○	○	○																																													
	樹木標本	—	◎	◎																																													
	ペーパーテスト	—	○	○	確認テスト・定期考査																																												
履 修 上 の 注 意																																																	

学期	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学習活動（評価方法）
1 学 期	地域資源活用とプロジェクト学習	3	農業科の科目と関連付け創造的に学ぶ。	【学習状況の観察】授業展開で、学習目標に対応した発言、技術を習得しようとする。【提出物】ノート等が毎回きちんと整理している。プリント等の提出期限が守られている。【定期考査】指定された範囲の学習を行っている、授業内容を正確に理解し、知識として身につけている。出席状況などを総合的に判断する。
	地域資源活用に関するプロジェクト学習の意義	3	科学的な見方と課題を解決するための実践力を身に付ける。	
	プロジェクト学習の進め方	6	地域振興を目指した未利用資源の調査と「農業と環境」で学んだプロジェクト学習の方法を踏まえ、課題設定、計画立案、実施まとめ（反省と評価）の一連の流れをもとに、地域資源活用に関する諸課題を主体的に解決する。	
	農山村社会の変化と地域振興	3	農山村と都市部の比較から現状について学び、心の豊かさを重視する生き方から、その地域農業の多面的機能を見直し、それを生かした活動、観光業との連携、六次産業化や農福連携など、そこから産み出される資源の開発などについて地域の活性化の変化とその要素を理解する。	
	農山村社会の現状と変化	3		
	地域活性化に向けた取り組み	6		
2 学 期	地域資源活用の意義と役割 地域資源の価値と活用	12	地域資源の魅力創造について、地域ブランドの視点から、地域の歴史を踏まえて、地域資源の洗い出しを行い。その活用など国内外の事例について取り上げる。	【学習状況の観察】授業展開で、学習目標に対応した発言、技術を習得しようとする。【提出物】ノート等が毎回きちんと整理している。プリント等の提出期限が守られている。【定期考査】指定された範囲の学習を行っている、授業内容を正確に理解し、知識として身につけている。出席状況などを総合的に判断する。
	地域と連携した活動	14	農業の多面的機能を活用した商品の開発について学習する。新商品の主材として地域の在来作物について学び、加えて種子保存の重要性や、種苗法の仕組みについて取り上げる。農家民泊やグリーンツーリズムなど農の多面的機能を活用した観光について理解する。	
3 学 期	地域資源活用の実践	10	直販所や農家レストランの開設や運営について、利用者に農産物加工を体験してもらうワークショップの運営などについて学び、市民農園の種類や運営、従来の農地と市民農園の違い、開設について、体験農園の運営などの学習も取り入れる。	【学習状況の観察】授業展開で、学習目標に対応した発言、技術を習得しようとする。【提出物】ノート等が毎回きちんと整理している。プリント等の提出期限が守られている。【定期考査】指定された範囲の学習を行っている、授業内容を正確に理解し、知識として身につけている。出席状況などを総合的に判断する。各種の記録・資料・情報の整理、分析と考察の仕方、成果のまとめ方、成果の発表、報告書の作成、自己評価を行う。生徒個人でまとめ、その結果をグループで協議・整理する。
	地域農業の実態、地域特有の生活や文化	10	有機的に学校での学習活動で展開するために、外部機関や官公庁や大学、地域振興などに取り組むNPO法人などと連携をしながら、地域における資源活用の実態を把握し、今後の地域振興の在り方を考察する。また、起業や六次産業化、ブランド化など創造的に地域資源を活用する。	